

監視事項

第1部門～第8部門は、競技事項各部門に定められた禁止事項、失格事項、減点事項を監視する。
第9部門～第10部門は、全国理容美容学生技術大会監視規定に準ずる。

選手の留意事項

1. 選手は大会の主旨をよく理解し、いやしくも競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわかまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。
2. 選手は、大会要項及び競技事項に定められた事項を順守すること。
3. モデルは受付終了後、モデル審査を受けなければならないので、選手はこの点をモデルとよく打ち合わせをしておき、直ちにモデルを審査室に集合させること。
なお、モデルはモデル審査を受ける際に毛髪を水スプレーで濡らすので、選手はモデルにタオルとシャンプークロスを持参させること。
マネキン競技は、衣装を付けない状態でモデル審査を受けること。
4. モデル審査の結果に対し不服のある選手は、出場を取り消す場合がある。
5. 選手は開会式に参加すること。これに参加しない選手は出場を取り消すものとする。
6. 選手は閉会式に、モデル同伴のうえ参加すること。尚、特別の理由なく欠席した場合は賞を与えない。（大会役員に申し出ること）
7. 選手の椅子番号は当日受付にて渡す。
8. 選手は、おしゃれで清潔感のある服装で出場すること。
9. 選手は競技事項に基づく器具の他に、刈布、タオル、延長コード、椅子取り付け金具などを持参すること。
10. モデル及び器具のトラブルは選手の責任となる。
11. 各部門ともドライヤーは1kw以下とする。
12. 選手はテーブルや床面の掃除道具（タオル）を持参すること。
13. 選手は大会当日、係員の指示をよく聞き、間違いのないよう注意すること。
14. 選手は競技中に、手首から指先に一切の付属品を付けないこと。但し、取り外すことが困難な場合、競技会場において監視委員に申告すること。
15. 競技中に器具をモデルに持たせたり、選手に手渡しする補助行為はしないこと。
16. 持参器具等、管理留意すること。盗難等の場合、責任を負いかねます。
17. 競技中に時計（タイマー）を使用する場合は、アラーム等、音を出さないこと。
18. 器具は床の上に置かないこと。

その他の留意事項

ここに定める以外に、大会運営について必要な事項は、全国理容競技大会運営規定並びに、埼玉県理容競技大会運営規定によるものとする。